



2019年12月期第2四半期 決算説明会

株式会社アイ・エス・ビー

証券コード：9702

2019年8月8日

- 1 会社概要
- 2 2019年12月期 第2四半期 決算説明
- 3 連結分野別状況
- 4 中期経営計画2020について
- 5 2019年連結業績および配当予想

1 会社概要

1-1. 会社概要

社名・商号 株式会社アイ・エス・ビー
ISB CORPORATION



URL <https://www.isb.co.jp>

設立 1970年6月4日

代表者 代表取締役社長 若尾逸雄

決算期 12月

資本金 17億752万円

発行済株式総数 5,105,800株 (100株単位)

上場市場/コード 東証1部/ 9702

主幹事証券 大和証券株式会社

従業員数 連結2,055名 (2018年12月末比 746名増)
契約社員を含む

上記情報は全て、2019年6月30日現在

1-2. 主要な連結子会社紹介

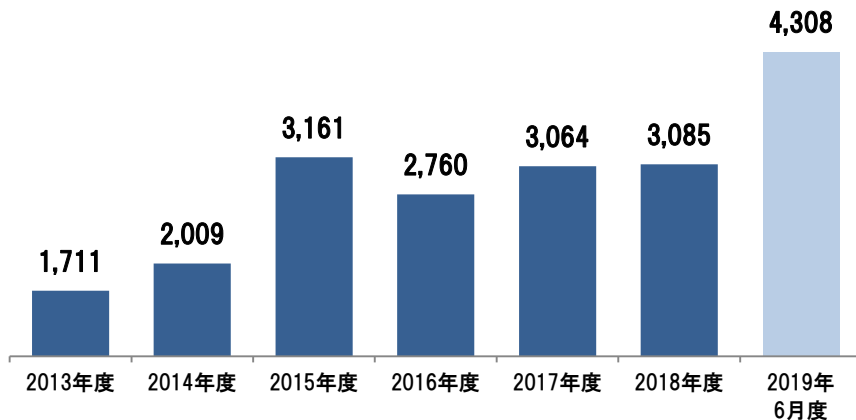


1-3. THE ISB WAY



1-4. 株式の状況

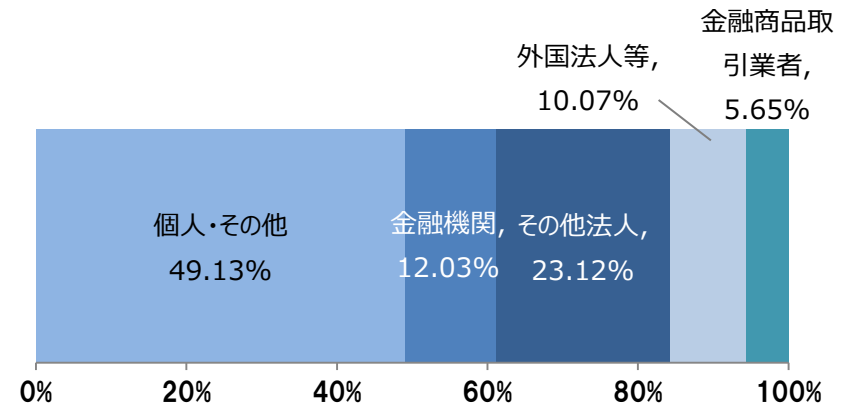
株主数の推移



大株主情報 (2019年6月末)

株主名	株式数 (株)	比率 (%)
有限会社若尾商事	1,000,700	19.59
アイ・エス・ビー・グループ従業員持株会	274,500	5.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	182,500	3.57
若尾一史	135,500	2.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	101,800	1.99
株式会社第一情報システムズ	90,000	1.76
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED- REGISTERED CUSTODY	80,000	1.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	74,600	1.46
株式会社SBI証券	71,974	1.40
株式会社KSK	61,600	1.20

所有者別株式分布状況 (2019年6月末)



所有者	株主数 (名)	株式数 (株)	比率 (%)
個人・その他	4,162	2,508,434	49.13
金融機関	17	614,400	12.03
その他法人	30	1,180,571	23.12
自己株式	1	7	0.00
外国法人等	63	513,905	10.07
金融商品取引業者	35	288,483	5.65

2 2019年12月期 第2四半期 決算説明

2-1. 2019年12月期第2四半期 連結損益計算書

2019年12月期第2四半期実績

売上高	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業利益	経常利益	当期純利益
10,992 百万円	2,596 百万円	2,013 百万円	583 百万円	601 百万円	325 百万円
前年比 +2,305 百万円 +26.5%	前年比 +748 百万円 +40.5%	前年比 +684 百万円 +51.5%	前年比 +64 百万円 +12.3%	前年比 +71 百万円 +13.5%	前年比 ▲35 百万円 ▲9.8%

2018年12月期第2四半期実績

8,688 百万円	1,848 百万円	1,328 百万円	519 百万円	529 百万円	360 百万円
-----------	-----------	-----------	---------	---------	---------

売上

(情報サービス事業) 好調な企業収益を背景に、受注量の増加や、新規連結子会社の影響により、増収。
(セキュリティシステム事業) 出入管理、入退室管理システム及び施工など、総じて順調に推移し、増収。

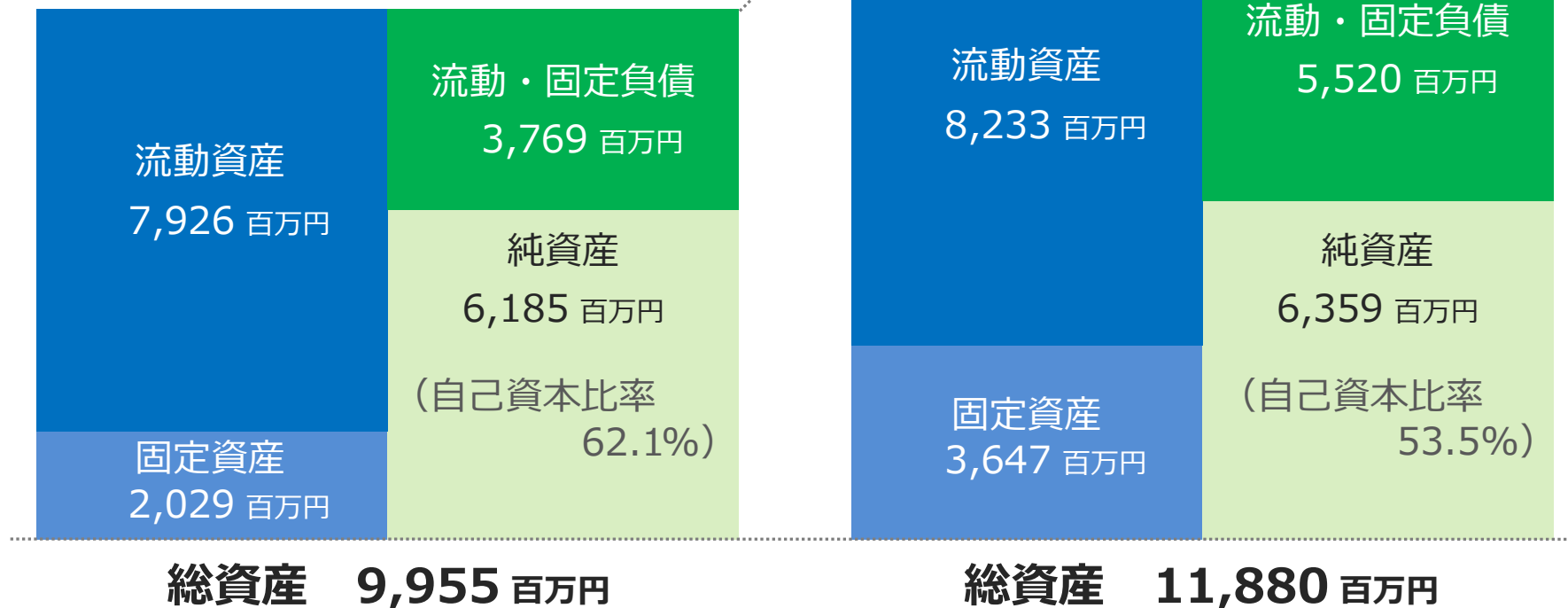
利益

(情報サービス事業) グループ経営戦略の推進、パートナー企業との連携、新規子会社の影響により、増益。
(セキュリティシステム事業) 前年同期と比べ研究開発費が、減少したことにより、増益。

2-2. 2019年12月期第2四半期 連結貸借対照表

2018年12月期
「税効果会計に係る会計基準」
の一部改正による遡及後

2019年12月期第2四半期

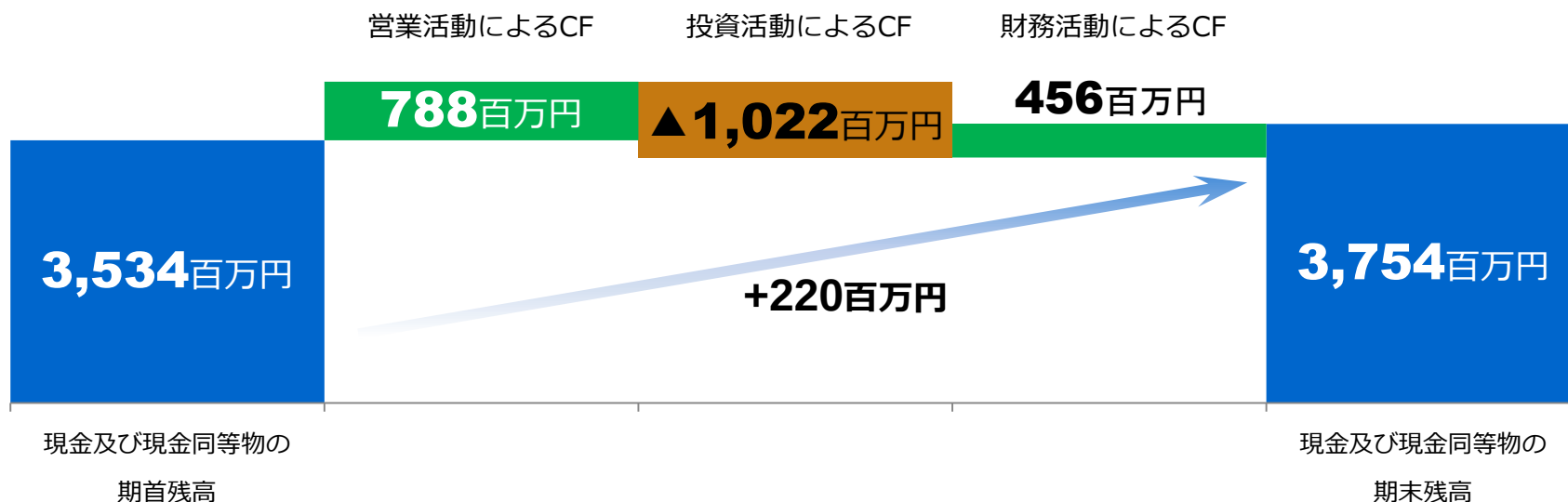


主要
POINT

- | | |
|---------|----------------------|
| ①総資産増加 | → のれん及び差入保証金の増加 |
| ②負債の増加 | → 短期借入金・未払金・長期借入金の増加 |
| ③純資産 | → 利益剰余金の増加 |
| ④自己資本比率 | → 8.6ポイント低下 |

2-3. 2019年12月期第2四半期

連結キャッシュ・フロー計算書



営業活動によるCF

税金等調整前当期純利益	601百万円
減価償却費	66百万円
のれん償却額	248百万円
売上債権の減少	508百万円
仕入債務の減少	▲161百万円
法人税等の支払額	▲377百万円

投資活動によるCF

有形固定資産取得支出	▲48百万円
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	▲1,072百万円

財務活動によるCF

短期借入金の純増額	997百万円
長期借入金の返済による支出	▲356百万円
配当金の支払額	▲167百万円

主要
POINT

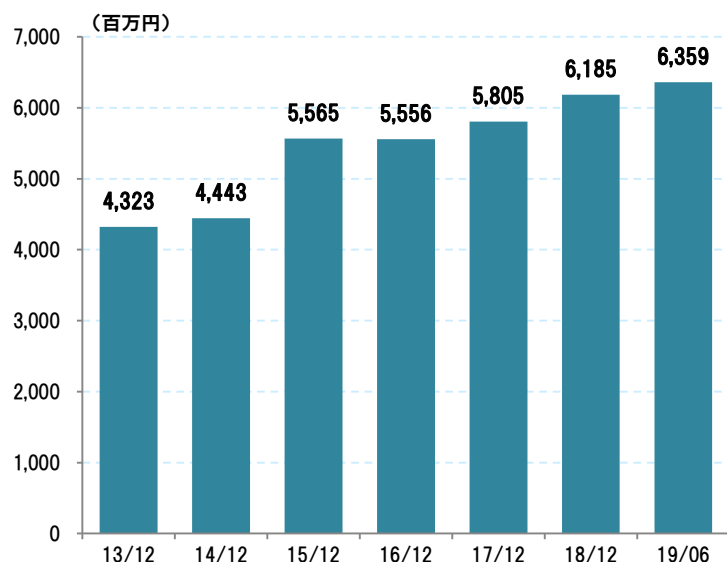
2-4. 株主還元について

株主価値
企業価値の
最大化に向けて

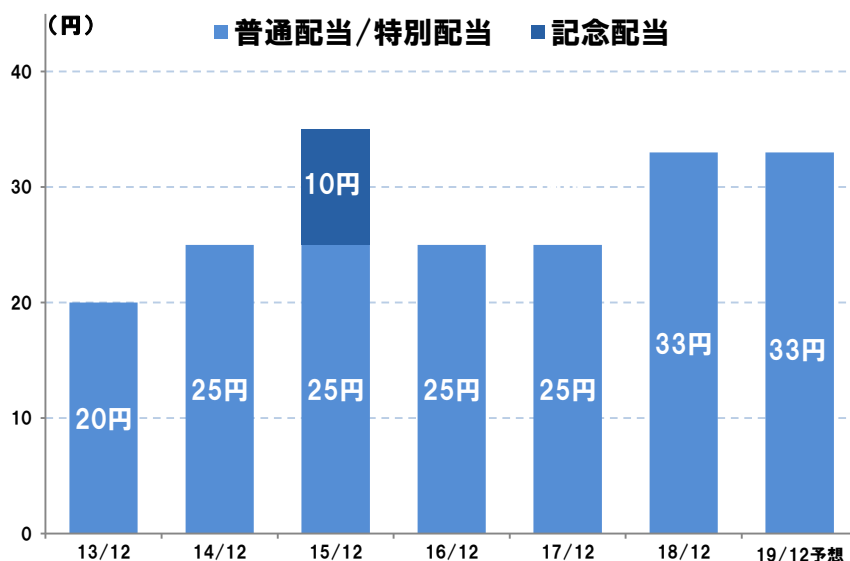
事業拡大・利益増加による
時価総額増大を目指す

内部留保を勘案の上、
可能な限り安定した配当
を継続していく方針
(配当性向は30%を目標に)

純資産の推移



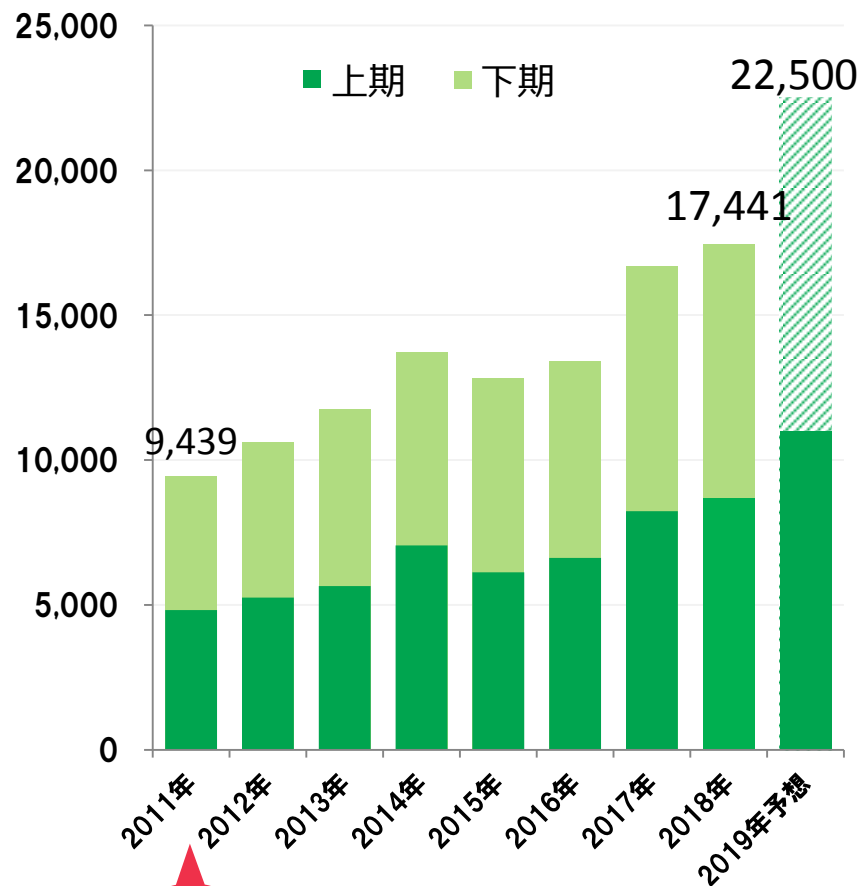
一株あたり年間配当金推移
(普通配当・特別配当・記念配当を含む)



3 連結分野別状況

3-1. 連結売上高と同営業利益の推移

連結売上高（百万円）



東日本
大震災

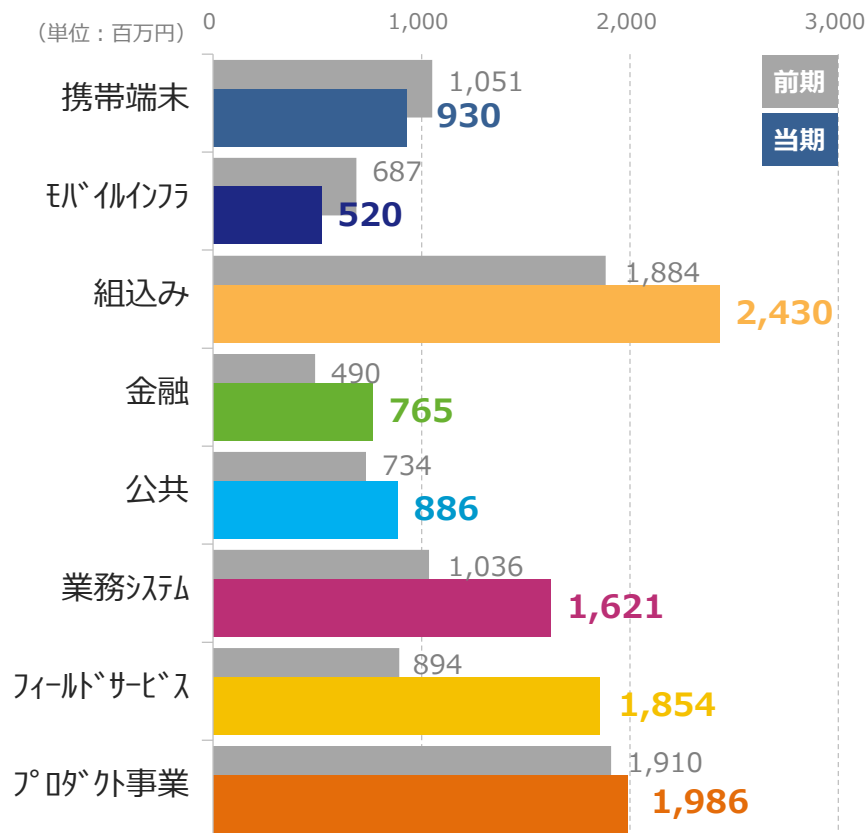
連結営業利益（百万円）



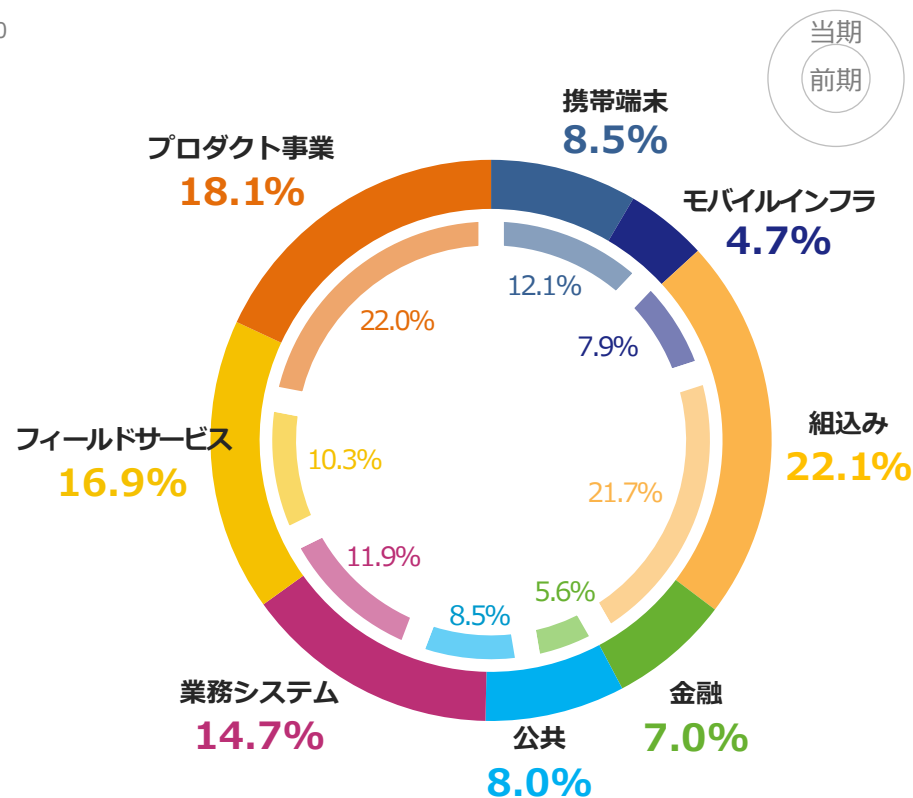
東日本
大震災

3-2. 連結分野別売上高 構成比前期比較

分野別売上高前期比較



分野別売上高構成比前期比較

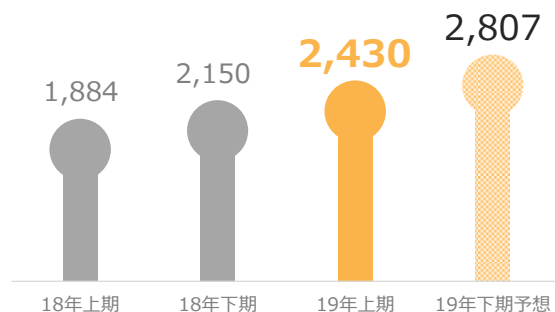


新規子会社の影響により
業務システム・フィールドサービスの受注拡大

3-3. 連結分野別売上高 実績推移と次期予想

組込み

(単位：百万円)



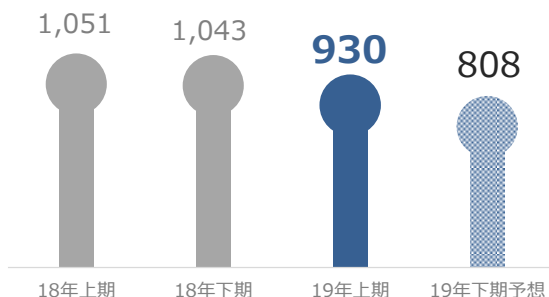
従来から縮小が見込まれていた「携帯端末」「モバイルインフラ」からの業務シフトが順調に推移し、売上高が年々逦増。

上期は主力となっている車載系業務や医療系業務の受注が堅調に推移し、売上高が増加。

下期は、車載系業務などの将来性の高い業務へのシフトを行い、増収計画。

携帯端末

(単位：百万円)

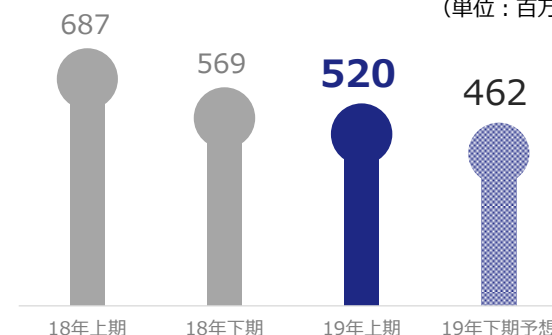


上期はスマートフォンアプリ開発の売上高が増加したが、端末開発業務の売上高が減少となり、全体の売上高は減少となった。

下期は、現況が継続すると予想し、減収計画。

モバイルインフラ

(単位：百万円)

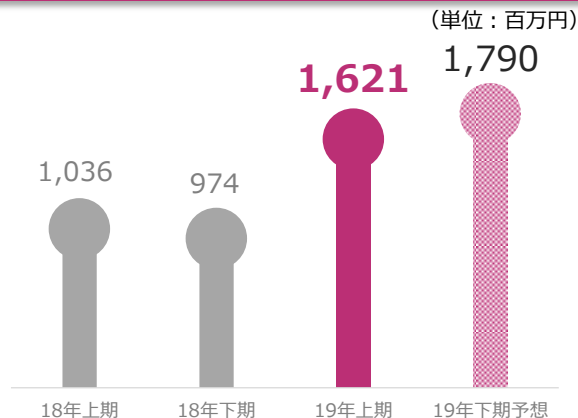


上期は基地局開発業務の縮小から売上高は逦減。

下期は業務の縮小が更に続くと予想し、減収を計画。

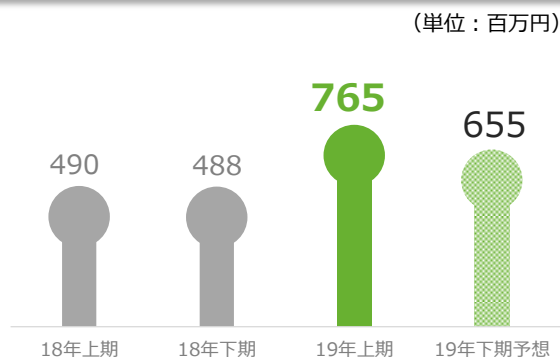
3-3. 連結分野別売上高 実績推移と次期予想

業務システム



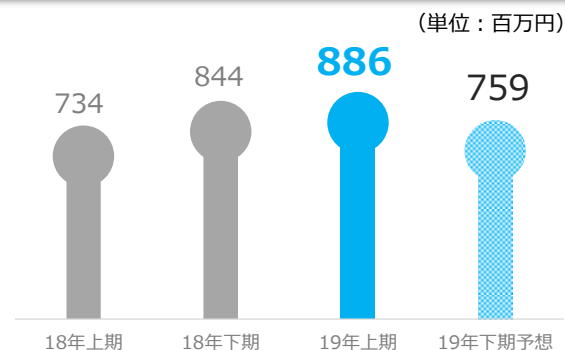
上期は大型案件の開発や、放送関連システムの刷新・検証案件が増加したこと、また新たに子会社化したコンピュータハウス社、テイクス社の売上高が加わり、大幅な増収となった。
下期はグループ各社との協業を進め、更なる増収を計画。

金融



上期はテイクス社の売上高が加わったことにより、増収となった。
下期は、主要取引先の開発費削減が続くと予想し、減収を計画。

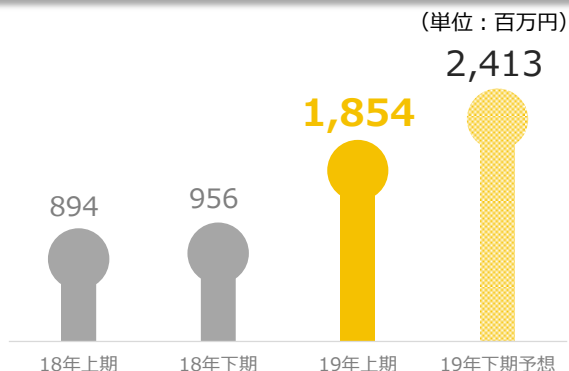
公共



上期は自治体を中心とする改元対応案件の受注により増収となった。
下期は案件の減少や価格抑制が予想され減収を計画。

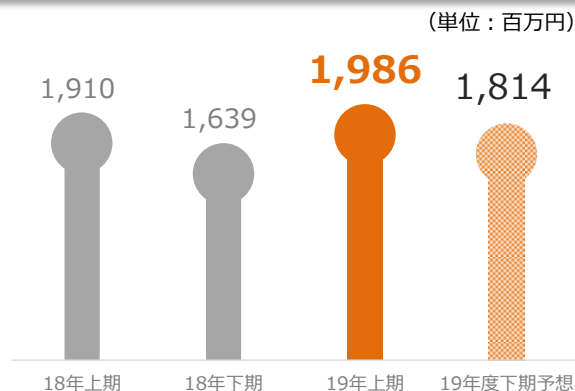
3-3. 連結分野別売上高 実績推移と次期予想

フィールドサービス



上期はクラウド関連構築業務の受注が順調に増加していることや当分野を主力としているテイクス社の売上高が加わったことにより、大幅な増収となった。下期はエス・エム・シー社との協業による運用支援サービス業務の拡大や、テイクス社の受注拡大により、増収を計画。

プロダクト事業



上期は当分野の大部分を占めるアート社と、MDM事業、L-Share事業の売上高が増加し、全同期比増収となった。下期についても、前年同期比増収を計画。

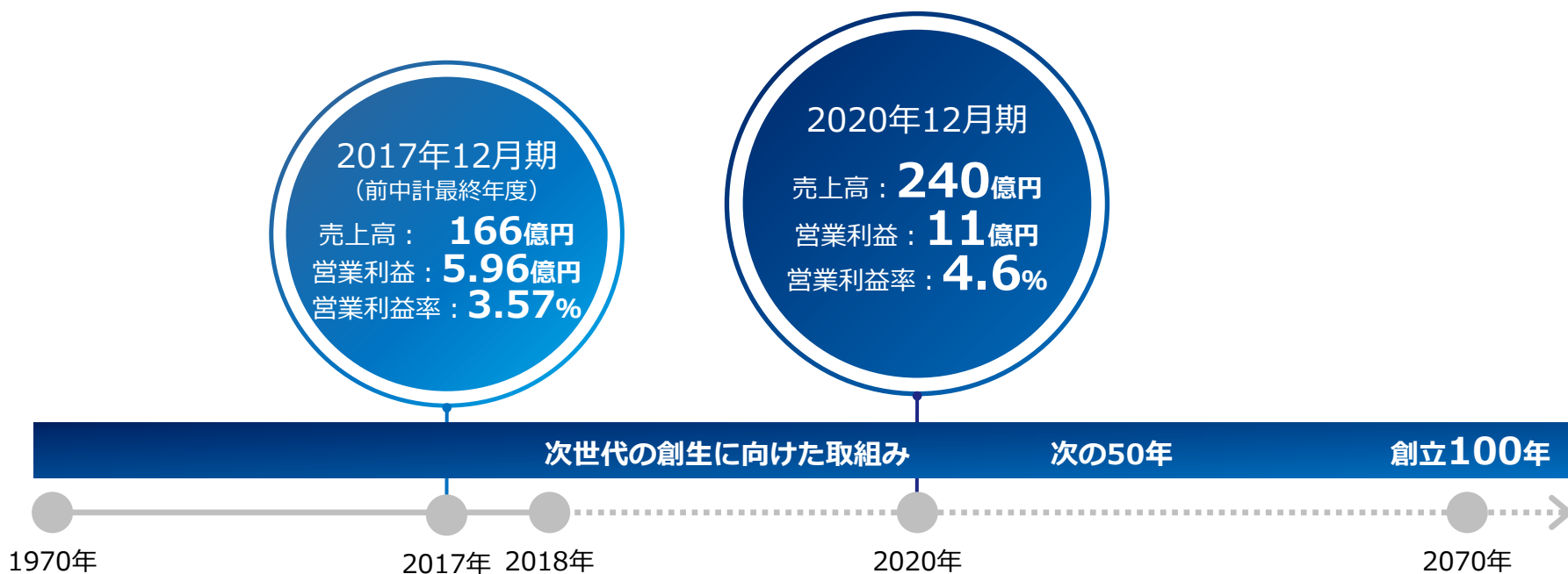
4 中期経営計画2020について

4-1-1. 中期経営計画2020：方針と数値目標

2020年は創立50年の節目の年となります。
これからの3年間は次の50年への橋渡しの
期間とし、「次世代」の創生を強く意識して
臨んでまいります。

CREATE THE NEXT GENERATION

次の50年を創ろう。そのために
～ 夢を持って夢に挑戦 ～



4-1-2. 中期経営計画2020：重点戦略

1

プロダクト事業の
展開と拡大



- ・プロダクト事業を
拡大、
受託開発型事業と
二本柱に

2

高付加価値業務
へのシフト



- ・新規優良顧客獲得
- ・プライム業務の拡大
- ・提案型業務の拡大
- ・将来性の高い市場／
技術への進出

3

コスト
競争力強化



- ・社員パフォーマンス
向上
- ・オフショア／
ニアショアの活用
- ・業務改善
- ・リスク軽減

4

グループ経営
戦略強化

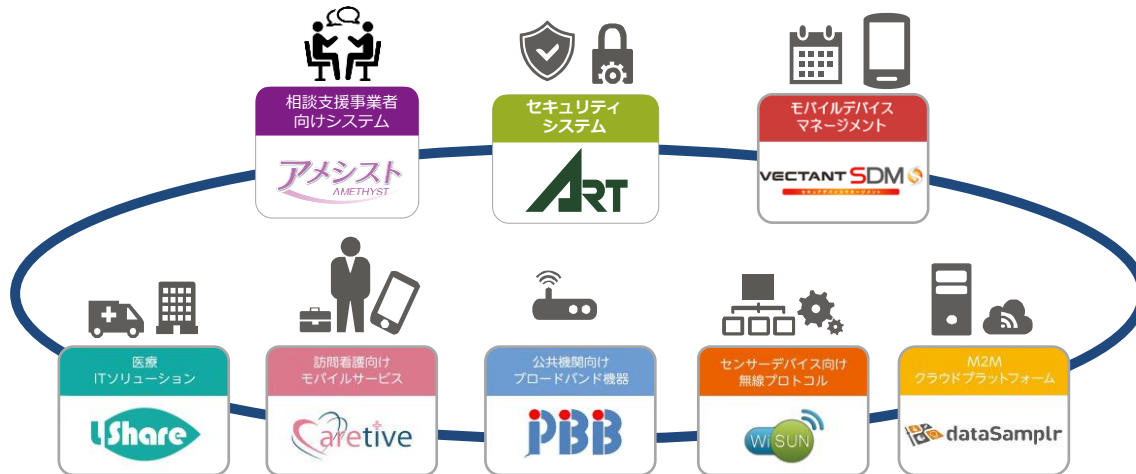


- ・協業／分業による
事業領域拡大

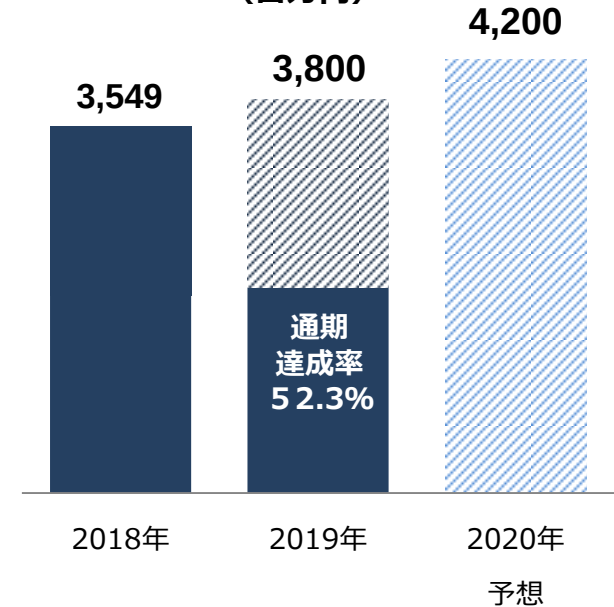
4-2-1. プロダクト事業の展開と拡大



プロダクト事業を拡大し、受託開発事業との二本の柱に



プロダクト事業売上高推移
(百万円)



売上高比1%を研究開発費としてプロダクト事業推進のため投資。



2018年 ALLIGATEプラットフォーム対応製品 販売開始

ALLIGATE Lock / Logger

【販売中】 TeamSpirit対応
照合データを勤怠データとして反映



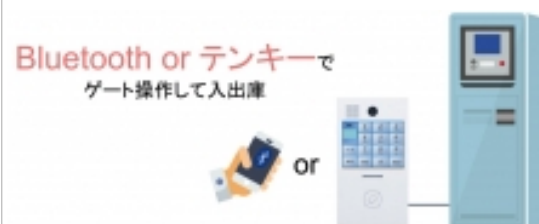
ALLIGATE CylinderLock

【発売開始】
工事不要・初期費用0円の出入管理



akippaシェアゲート

【販売中】
予約可能なゲート式駐車場



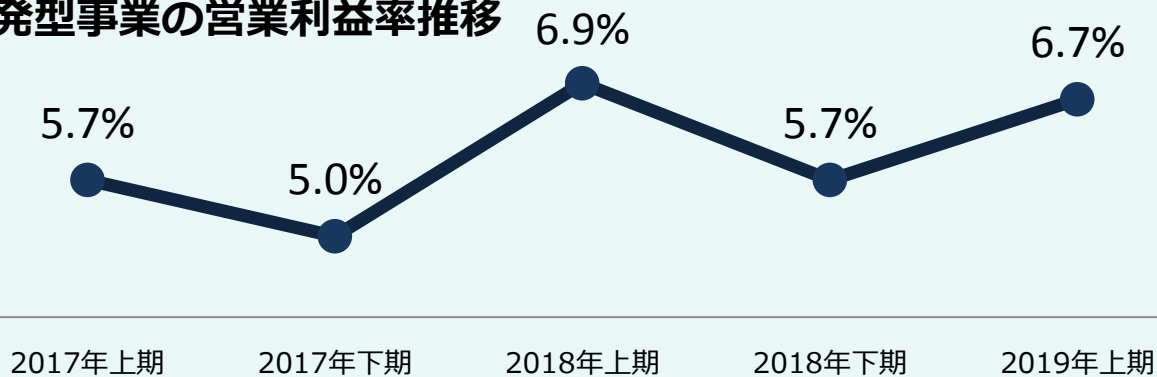
トピックス

- ▶ 工事不要・初期費用0円のALLIGATE CylinderLockを販売開始
- ▶ akippa /チームスピリット/ ホテル事業対応のLock/Loggerに関しては順調に導入数増加
- ▶ シェアビジネス、オフィスセキュリティへ事業拡大のため、新たな機能を追加開発



高付加価値業務へのシフトを行い 受託開発型事業を拡大

受託開発型事業の営業利益率推移



プライム業務の拡大

業務システム分野の拡大



提案型業務の拡大

Qt活用

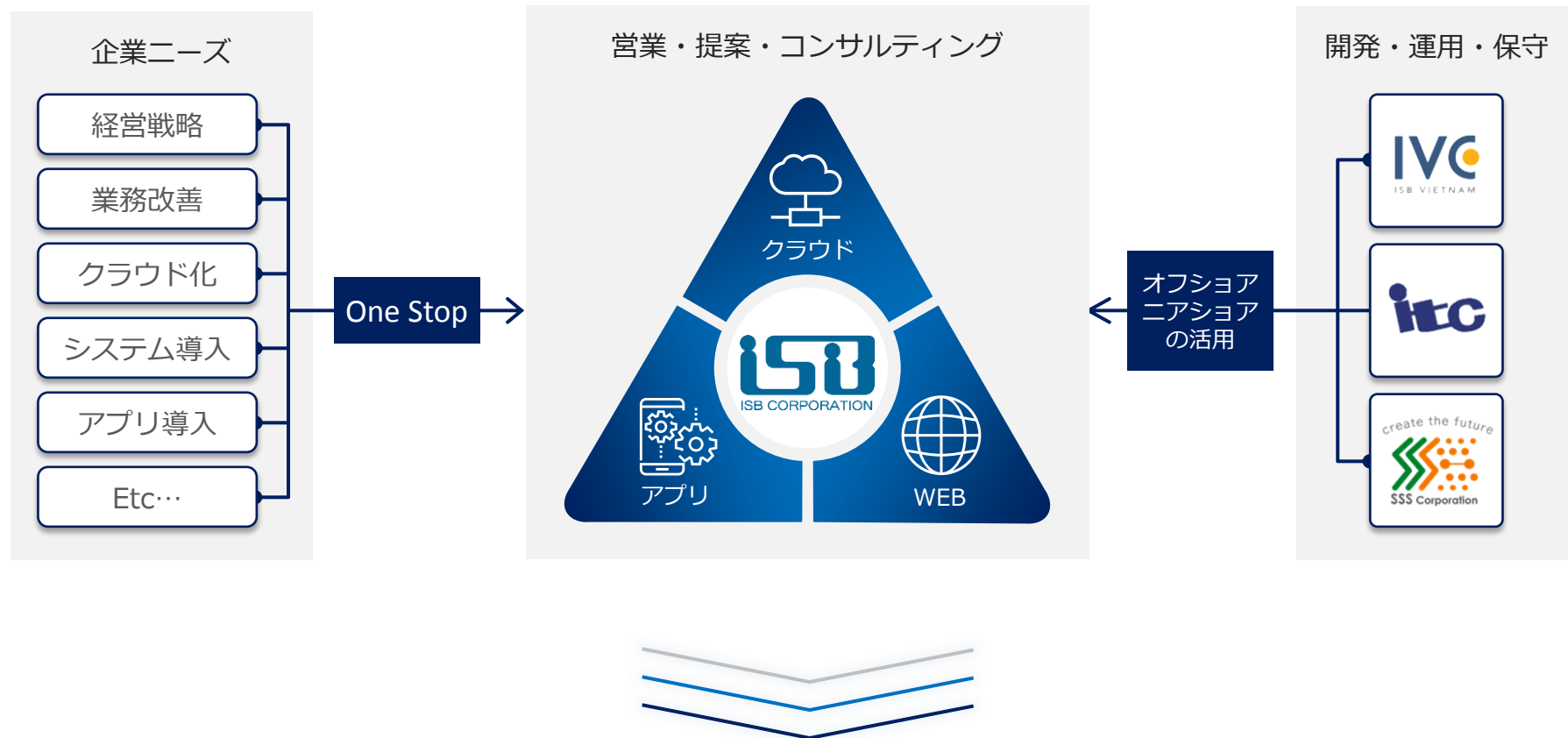


将来性の高い市場・ 技術へのシフト

組込み分野（車載業務）の拡大



4-3-2. プライム業務の拡大：業務システム



プライム案件受注

4-3-3. 提案型業務の拡大：Qt(キ्यूト)



Distributor

BlackBerry | **QNX**

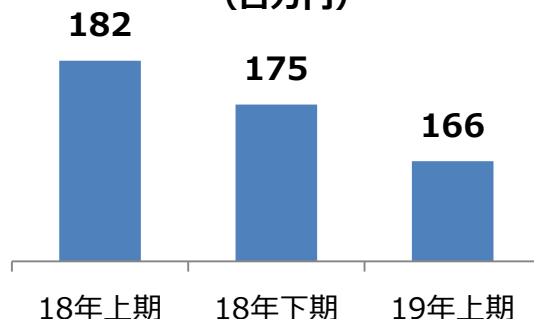
世界屈指のマルチプラットフォーム・アプリケーション開発キットを基軸に業務拡大中

2018年8月 BlackBerry
VAI パートナープログラムを締結



リアルタイム性、セキュリティ性の高い
産業機器、医療機器への市場展開

開発案件+ライセンス売上高推移
(百万円)



QNX Neutrino

車載、医療、産業用組込みシステム向けの
サイバーセキュリティの侵害を防ぐ堅牢で信頼性の高いシステム
開発が可能なOSです。

標準GUIにQtを採用するなど親和性も高く、相互パートナー
の弊社からトータルサービスを提供いたします。



提案型業務の拡大へ

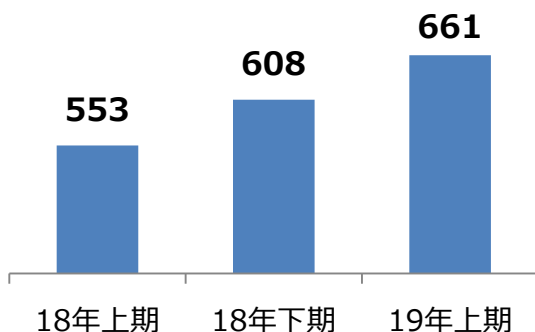
4-3-4. 将来性の高い市場：組込み分野（車載業務）



魅力あるネットワーク連携ソリューションを提案しビジネス展開



売上高推移（百万円）



広がる車載ネットワークと、ISBの通信制御技術との融合・
モデルドリブンな開発スタイルへの取り組み

機能性・安全性

セキュリティ技術

操作性・
エンターテインメント性

将来性の高い市場・技術へのシフト

4-4-1. コスト競争力強化と グループ経営戦略強化：オフショア戦略



オフショアの活用

2019

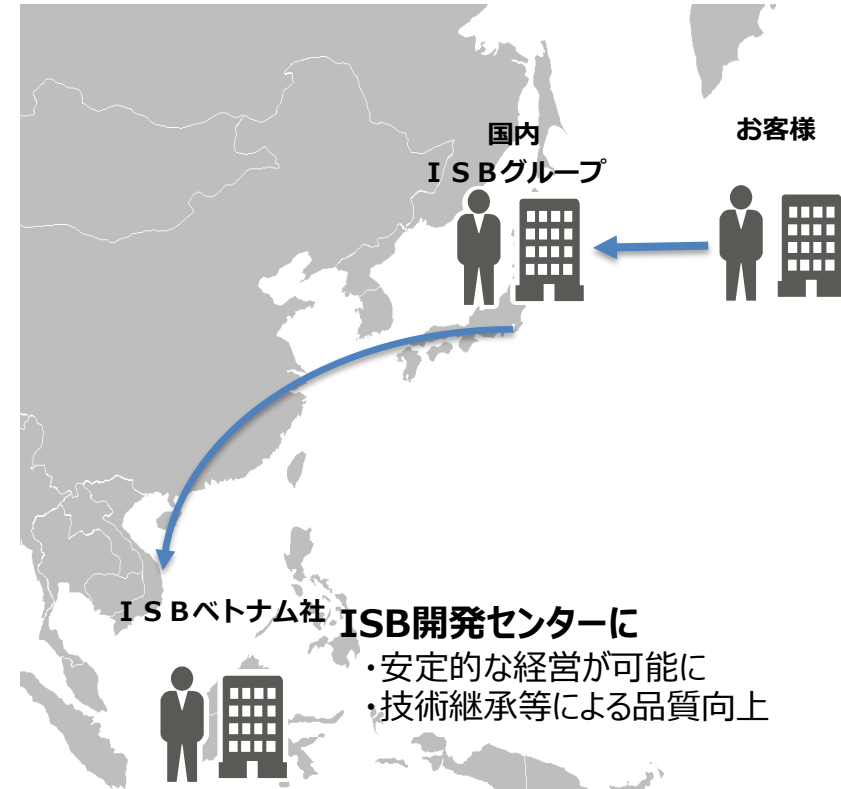
上期実績

91.4%

2018

通期実績

93.6%



中期経営計画目標の80%以上を達成。利益向上に貢献。

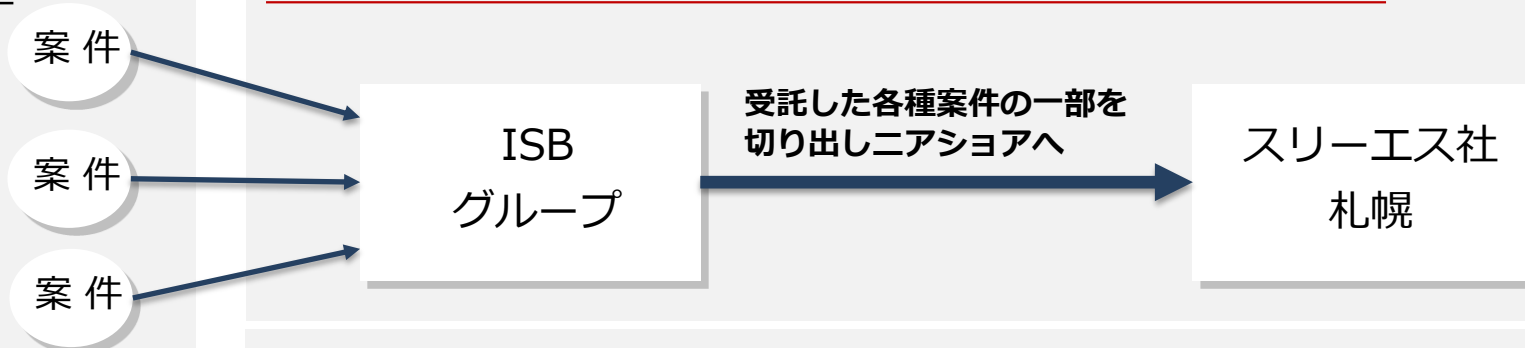
4-4-2. コスト競争力強化と

グループ経営戦略強化：ニアショア戦略

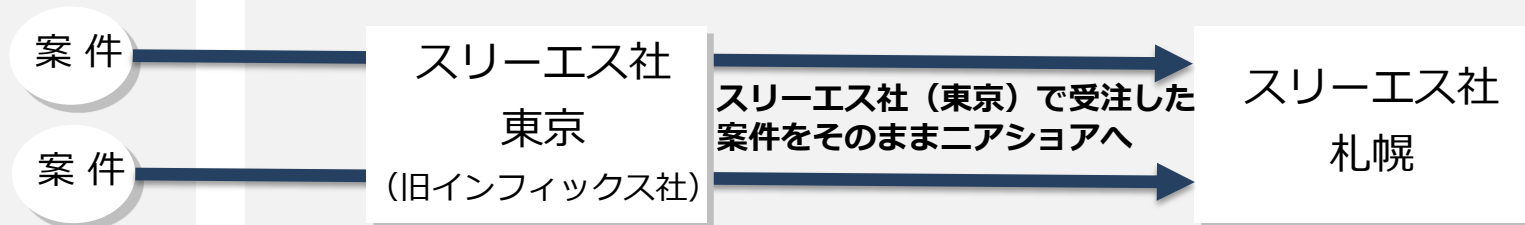


スリーエス社・旧インフィックス社（今期スリーエス社と統合）・
コンピューターハウス社を複合的に活用しニアショア開発の更なる活用を進める

首都圏



スリーエス社（東京拠点）受注のニアショア前提案件に対しては：



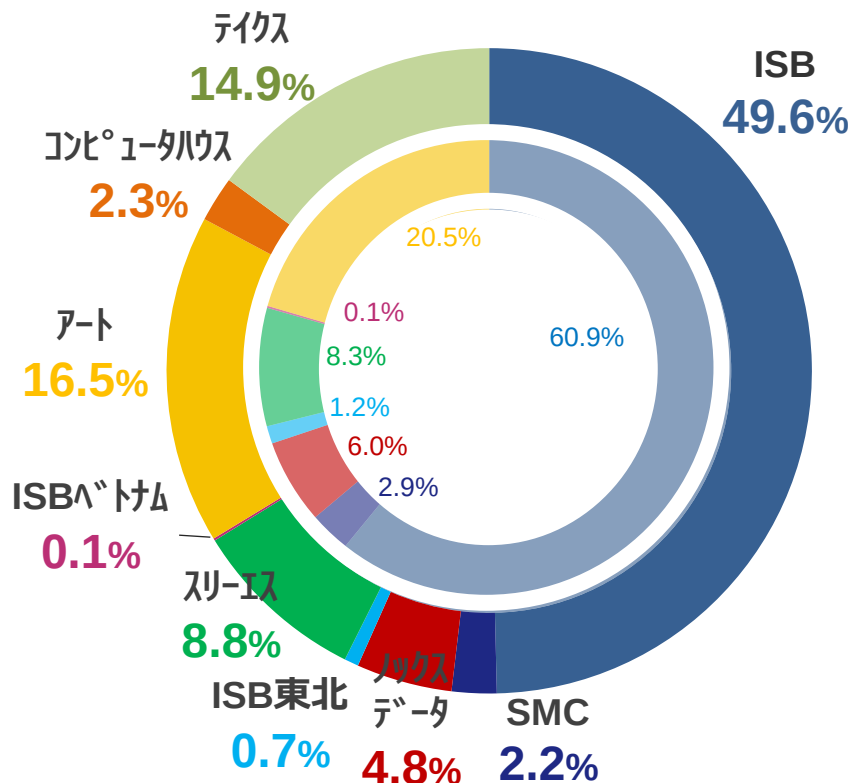
更に追求

「お客様へのコストメリット提供」と「ニアショア拠点の技術力向上」

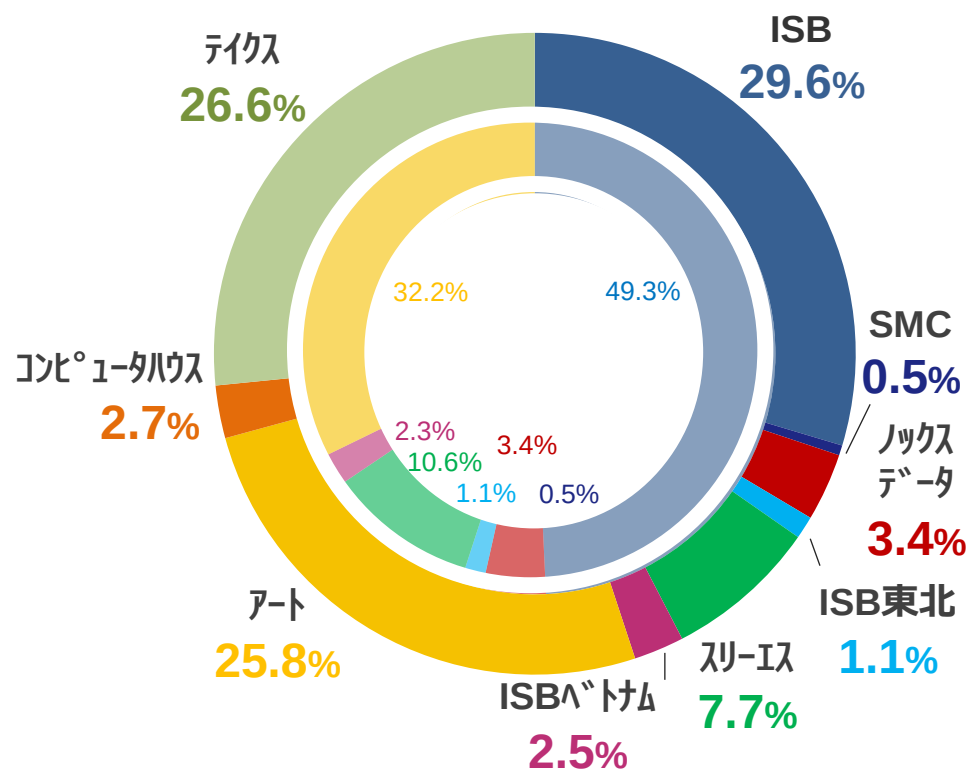
4-4-3. グループ経営戦略強化：ISBグループの発展



グループ会社別売上高構成比率
前期比較
(内部取引相殺後)



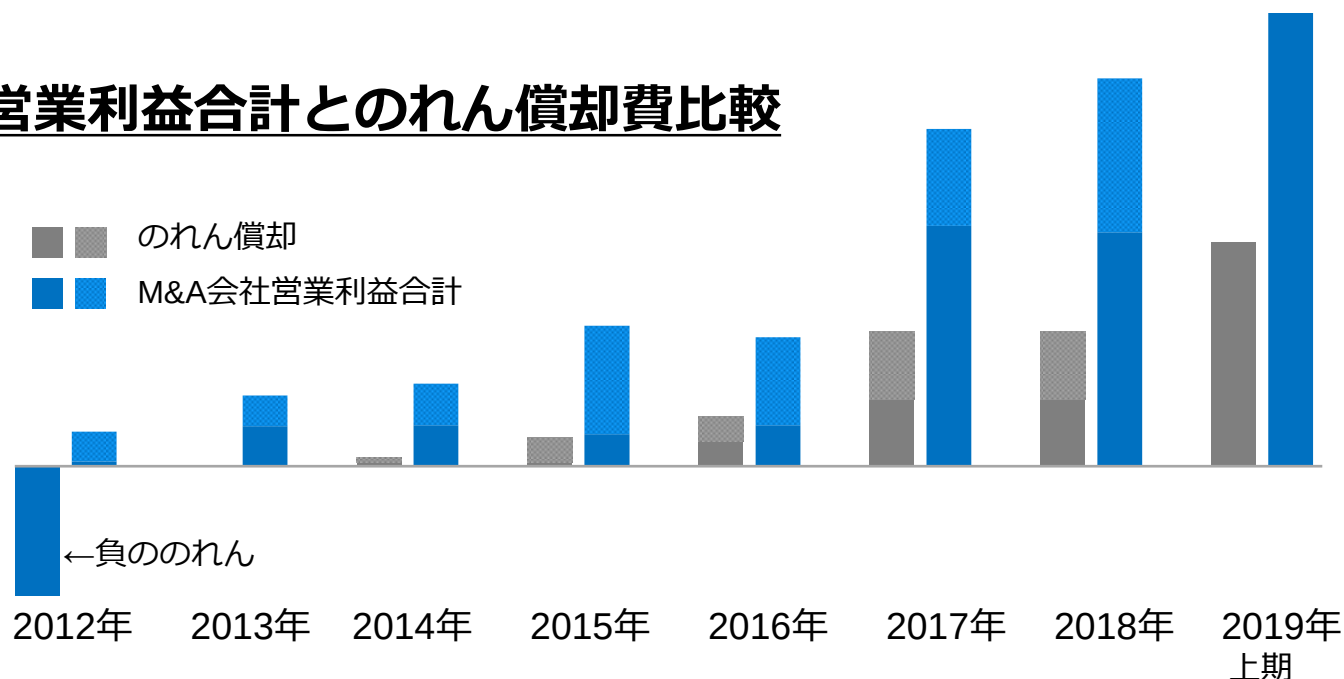
グループ会社別営業利益構成比率
前期比較
(連結相殺前)



今期よりコンピュータハウス社、テイクス社が加入

[illegible]

■ ■ のれん償却
■ ■ M&A会社営業利益合計



営業利益	1,843百万円
負ののれん	143百万円
のれん償却	▲504百万円

利益貢献額 1,482百万円

31

5 2019年連結業績および配当予想

5. 2019年12月期通期 連結業績予想および配当予想

2019年12月期予想

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
22,500 百万円	950 百万円	980 百万円	580 百万円
前年比	前年比	前年比	前年比
+5,059 百万円 +29.0%	+82 百万円 +9.3%	+63 百万円 +6.8%	+34 百万円 +6.1%

配当金 : 33円 配当性向 : 29.1%

2018年12月期実績

17,441 百万円	868 百万円	917 百万円	546 百万円
------------	---------	---------	---------



ご清聴、誠に有難うございました

本資料は、2019年12月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2019年6月末時点の状況において作成しております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。



【お問い合わせ先】

株式会社アイエスビー

<https://www.isb.co.jp/>

証券番号 9702

〒141-0032

東京都品川区大崎5-1-11住友生命五反田ビル

TEL 03-3490-1761(代) E-mail ir-info@isb.co.jp